

夏を告げる鳥ホトトギスは短歌や俳句で人気が高い。へほと、ぎす二十六字は案じさせ」という江戸①セリリユウを前に紹介したことがある。短歌は②シンヒトモジだが、ホトトギスをお題にすれば五文字は決まる。残る二十六字をささどう作るか、というユーモアだ。▼俳句ならもっと短い十七音だから、③アンじるのは十二音になる。よく似た「類句」ができるのは④シユクメイだろう。いつか見た他者の句がふっと口をつく場合もあるようだ。作家の故・車谷長吉⑤(ちやうきつ)さんもそれでおわびをした。▼句集の中で二句が⑥トウサクの指摘を受けた。その一つがへふところに乳房ある憂⑦(さ秋暑し)。これには桂信子のへふところに乳房ある憂⑧(梅雨ながき)が先にあった。車谷さんは「無意識の記憶」だったと二句とも訂正している。▼⑨(ブツギ)をかもしていた東京五輪のエンブレムが、白紙⑩(テツカイ)になった。他との類似などが指摘されて一カ月余り、真相はともかく、もはや国民の愛着を集める力を失った感⑩(イナめない)。▼シンプルな形を組み合わせるデザインは俳句と同様、類似が起きやすいのかもしれない。是と④(ヒ)の境目が素人には分かりにくい。デザイナーの佐野研二郎氏は⑥(モホウ)ではないとしつつ、五輪への悪影響を考えて取り下げを申し出たという。▼新国立競技場といい、つまづき⑩(つづき)の五輪である。季節違いをお許し⑩(いた)だいて俳句で締めれば、へ海に入りて生れかはらう朧月⑩(おぼろつき)高浜虚子。さんぶと一度沈んで洗われて、生まれ変わって上がってくる。五輪準備もそうである。

二〇一五年九月二日・朝日新聞・天声人語

★間違った場合、書けなかった場合、必ず↓の下の訂正欄に正しい漢字を赤色で丁寧に書くこと。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

★筆者のメッセージや内容がよく分かる見出しをつけなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

百点満点。

①～⑩は、各十点。タイトル記入が無い場合、マイナス十点。八十点以上合格。

点
---

高校 ( ) 年 ( ) ( ) コース ( ) 組 ( ) 番・氏名 ( )

「エンブレム騒動の結末」

解答 ①川柳 ②三十一文字 ③案 ④宿命 ⑤盗作 ⑥物議 ⑦撤回 ⑧否 ⑨非 ⑩模倣

練習欄

(意味を確認し、間違った漢字を丁寧に書くこと)

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
模倣	非	否む	撤回	物議を醸す	盗作	宿命	案じる	三十一文字	川柳
を「する」 まねること。にせること。「ローマン様式 を「する」	正しくないこと。道理にあわないこと。「 をあはく」「一行・一途・一礼」「是」	そうではないという。否定する。「一こと のふぎない事実」	一度提出・公表した事柄を、あとで取り下 げること。「処分の」を求める「	世間の人々の論議をひきおこす。「放言が 」	他人の作品の全部または一部をそのまま自 分のものとして使うこと。また、その作品。 剽窃。	前世から定まっている運命。宿運。しゅく みょう。	あれこれと考えをめぐらす。また、工夫し て考え出す。「周囲の状況を「」して方策 を練る」	和歌。短歌。	前句付けの対句が独立した一七字の短詩。 季語・切れ字などの制約のない口語詩とし て江戸中期頃から流行した。
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

知識人ではなくて教養人に

( (コース) (組) (番) 氏名)

)